

高石市議会議員 山敷めぐみ 議員活動報告 ～子どもの幸せが広がるまちへ～

めぐみ通信

Vol. 17

2015(H27)年 3月



山敷めぐみは、20年間の教員生活、そして3人の子どもを育てた経験から

《子どもを幸せに育てることは未来の社会を幸せにすること》だと考えています。



↑子ども達と一緒に…

子どもの笑顔を守りたい。その思いから山敷は市立幼稚園・保育所の廃止には一貫して反対してきました。

人を育てるといのは時間もお金もかかります。そこは未来へのコストとして認め、子育て世代に高石市を選んでもらいたい、と考えます。しかし最近、人口減が進む大阪府の中でも特に高石市の子育て世代の流出はとても多い、との報道がありました。

せめて廃止した幼稚園や保育所の跡地で子ども達や保護者、地域の人が集い交流できる場所を作るよう求めています。



童謡を歌う会でピアノを弾いています。→

また、乳幼児医療の充実も強く求め、議案も提出してきました。このたび、ようやく小学校6年生までに拡充されたことは良かったと思います。さらに堺市並みの中学校卒業までを求めています。



↑ 議場で発言しています。

山敷はこの4年間、議会では、行政（高石市）が提出した議案を十分に調査・研究し、賛成すべきと判断したものには賛成し、賛成できないと判断した議案に対しては出来る限り「修正案」という形で対案を示してきました。また反対する議案に対しては必ず議場で「反対討論」を行い、理由を明確にしてきました。

なかでも国民健康保険に加入する市民の医療データをIT企業に提供している「健康クラウド」には個人情報保護の観点から一貫して反対してきました。

議員になる前の20年間、教員として府立高校で生徒と共に歩んだ経験と、3人の子の母として子育てに奮闘した経験を生かし、この4年間高石市に対して様々な意見を伝えました。

子どもの事だけではなく、市民との情報の共有（情報公開）やまちづくり、個人情報保護についても重点的に取り組みました。

議会で審議した内容などは、議会が終了するたびに「めぐみ通信」として広く市民の皆様様に配布させて頂き、会派（クリア高石）で実施した議会報告会も14回を数えました。

高石市にも情報共有を強く求めてきたのですが、私自身も皆様と議会の情報を共有することを大切に、ブログやSNS（フェイスブックなど）でも発信を続けてきました。

人口減少に歯止めがかからない高石市。

“小さなまち”という特色を生かしたコミュニティづくりを高石市がサポート&応援するような仕組みを作ることで魅力あるまちになるよう、これからも全力で取り組みます。



山敷めぐみプロフィール

1964年7月28日生まれ。50歳。

大阪府立鳳高校・大阪教育大学教育学部卒業

1986年から20年間、大阪府立高校で音楽の教諭として勤務

2008・09年、高石中学校PTA会長

2010～14年度、高石市合唱連盟理事長として
音楽文化の振興に努める

2011年、高石市議会議員初当選

家族は夫と高校生・大学生・社会人の息子3人

発行：山敷めぐみ

事務所：高石市羽衣5-14-13

072-262-3979

yam4-meg3@ezweb.ne.jp

WEBサイトもご覧ください

<http://yamashikimegumi.com>